

第8回名古屋 YMCA チャリティーウォーク 2019

2,019年3月30日(土) 9:30~13:00 中区五条橋⇒清須市五条橋

みんなで歩こう！春の美濃路一大震災・大規模災害復興支援プログラムー

主催：名古屋地区ワイズメンズクラブ（名古屋・名古屋東海・名古屋南山・名古屋グランパス）

協力：公益財団法人名古屋 YMCA

春の美濃路を名古屋の五条橋から清須市の五条橋まで約8km 4時間近くかけて歩きました。

健脚組とぶらぶら歩き組では1時間位の差がありました。

五条橋に集合 長谷川和宏実行委員長の経路説明、注意事項などの挨拶



出発、早くもぶらぶら組は大きく遅れる。



西区の美濃路 風茂本店、養照寺、白山神社



カクダイ製菓（クッピーラムネ）、昔からの民家



八坂神社、惣兵衛橋（惣兵衛川は上飯田の三階橋から北区、西区、中村区を流れる農業用水だった）



八幡社、清音寺、庄内川堤防に到着 清音寺は枇杷島の名前の由来となる藤原師長が琵琶を贈った白菊という娘の菩提を弔う為に建立された寺。



黒體龍社（元は川の中州にあった）、庄内川を渡り清須市へ、山車蔵（鞍馬）、正念寺、松原神社



山車蔵（紅塵）、問屋記念館、松原神社、一休庵、戦前に建てられた木造3階建の民家



飴茶庵、瑞正寺（尾張藩の土器野刑場で処刑された人の菩提を弔う）、新川陣屋（新川開削の指揮所）



須佐之男神社、一里塚跡（一里塚は正覚寺に移された）、正覚寺（松平忠吉が母の菩提のため建立）



「まげわっぱ」の店（丸の内駅近く）、浄休寺、ゴールは近いぞ（もうフラフラだあ）



清州桜酒造では甘酒などのキャンペーン中、ここで一休み、秋葉社



やっとゴールの五条橋に到着。長谷川委員長、太田真由さん（ボランティアセンタースタッフ）の挨拶。



この五条橋は家康の「清洲越」で名古屋に移されたので橋の擬宝珠も名古屋の五条橋に。今は名古屋城の博物館に保存されている。

解散後はそれぞれのルート（名鉄・JR）で家路に、まだ清洲城古城の公園や新しく造られた清洲城へ行く人も。

清涼寺（清州宿の中心）、上島神社



「五条」という名は尾張守護職の「斯波氏」がかつて京都の「五条」に住んでいたため「五条殿」と呼ばれていたため。

今回は距離が長かったため途中でリタイアした方もおられました。また、朝日新聞の告知をみて参加されたかたもおられました。30名を越す参加者でした。